



学長就任にあたって

広島大学長 田中 隆 莊

このたび、本学の学長就任にあたり、責任の重大さに、あらためて身の引き締まる思いであります。皆様方のご期待にお応えするよう最善の努力を尽したいと存じます。

本学は、今日まで教官と職員の英知のもとに発展してきました。今後とも、教職員の幅広い意見を尊重し、これを結集して、一層充実した大学に発展させなければなりません。歴代の学長が推進されてきました開学の精神を継承し、中国・四国の基幹大学として体質の強化に努力し、学問研究と教育の新たな充実と活性化を図らねばなりません。

近年の社会・文化・科学・技術の著しい進展と拡大、そして課題の多様化は、大学の学術的責務と国際的および地域的な重要性をますます強めております。大学の学部・研究施設等の個性を伸ばし、それらの間の協働と緊密化を図り、独創的な研究教育を展開し、未来を先見し、学術的要請に応じて、将来の社会と文化を支え、幅広い視野をもつ自主独立・創造性豊かな人間の育成や、真に実力のある高度専門家の養成の一翼を担っていかねばなりません。

統合移転の早期完了は、そのための最も重要な課題であります。各学部等の伝統と独自性を反映した各研究教育の特色を一層発揮するとともに、統合移転を積極的に評価活用して、学内共同と一体性のある研究教育を展開し、総合大学の優れた研究機能と教育機能を兼ね備えた新しい形態を創出して、統合移転の所期の目的を達成する努力をする覚悟であります。

統合移転は、必然的に本学の新たな学風形成に対するインパクトを創出します。多くの優れた研究機能と教育機能を備えた本学の形態を、統合移転によって体質的に一層強化し、一層充実したものに止揚し、創出する機会を逸してはなりません。われわれは、それに対して果たすべき責任を負っているのであります。

もとより、新キャンパスは、教職員および学生の生活の場でもあります。研究と教育を充実するためには、通勤・通学の便を確保し、各種の福利厚生施設を整備する必要があります。地域と文化・福利厚生の一体感を図り、快適で心の和む環境を整え、精神的

に豊かな、理想のキャンパスライフをつくらなければなりません。

食家の長岡晴彦

一方、広島市内に存置する学部・研究施設等の一層の充実も重要であります。これらの機関の研究・教育機能を高める諸施策を積極的に展開する必要があります。また、新キャンパスとの緊密な連携を構築せねばなりません。

本学は、国際性のある大学として世界へ視野を広げて、学界や社会や文化に貢献しなければなりません。学問研究と教育の国際的な交流体制を整備し、留学生教育を充実し、国際的な責務を果たさねばなりません。

また、本学は、大学として地域に貢献するものでなければなりません。地域の産官学の各機関・組織と連携協力し、地域と積極的かつ効果的な交流を図る必要があります。それぞれの専門領域を活かし、これまでの実績を基盤としながら大学開放を積極的に進め、地域の各界の期待に十分に応えうる体制を整えねばなりません。以前から構想されている広島大学研究教育開放センターなどは、その中心的役割を果たすものと考えます。

大学における人間形成は、基本的には学問を通じて行われるものであります。教師の研究者としての活動が学生に与える影響は極めて大きいのであります。理想を語り、自由闊達な議論の中から、本学の学風は新たな展開を始めるものと期待されます。大学の自治と学問研究・教育の自由を基本に据え、研究と教育の理想に応えるべく、先見性のもとに施策を実行する所存であります。本学教職員および学生の建設的かつ積極的なご協力をお願いします。

